



■直観読みブックマーカーの遊び方

<http://tyokkannyomibookmarker.info/> (←公式サイトで専用ブックマーカーが無料でダウンロードできます)

http://tyokkannyomibookmarker.info/bm_A4prt.pdf

①いろいろな本を集めて持ってきてください。本は沢山あればあるほどいいです。図書館や本屋さんなど本がたくさんある場所で開催するのがオススメです。ひとりでもふたりでも遊べますが、参加者は何名でも可能です。参加人数が多くなったら4、5人で一チームを作ります。



②本に教えてほしい「問い」「テーマ」を決めて、ブックマーカー（白紙の方）の右側に書きます。「Q: 愛ってなんですか?」「Q: 仕事ってなんですか?」「Q: ぼくの人生最後の言葉を教えてください」など、何でもかまいません。

③直観で、その「問い、テーマの答えが載ってそうだな?」という本を選んでください。「問いやテーマが恋愛に関連することだから恋愛の本にしよう」というのではなく（それでも別に構いませんが）、料理本や小説、絵本、宗教書、ビジネス書、写真集、哲学書など、恋愛とはまったく関係ないジャンルの本を選ぶと「意外な答え」が出てくるのでオススメです。

④選んだ本を頭上に掲げて「問い、テーマに対する答えを教えてください!」と真剣にお祈りしながら「直観読み」します。「直観読み」とは陸奥賢（直観読みブックマーカー創始者）の造語で、「直観（＝偶然に身を任せて）で文章を選ぶ」という行為を意味します。目を瞑りながら「答え」が載ってそうだと思う本のページを開いて、目を瞑ったまま、人差し指で本のページのどこか（文章）を指差してください。自分で選択するのではなくて、完全に偶然に文章を選択するようにしてください。そして指を指したところが「答え」ですので、それをブックマーカーに書いてください（白紙や写真、イラストだったりはやり直してください）。「答え」として提示される文章の多くは暗示的だったり、比喩的だったり、意味深かつ意味不明な文章ばかりですが、構いません。そのまま書くようにしてください。また文章の出典（著者名、タイトル、ページ数）も記してください。



⑤全員がブックマーカーを作ったら、それぞれ開示して「〇〇という本に聞いてみたら、こんな文章ができました」と「選んだ本」と「直観読みで出てきた答え」を発表してください。「答え」を裏読みしたり、深読みしたり、「この言葉はこういうことではないか?」と推論・考察してみてください。意味不明な文章でも、集合知で多種多様な解釈をして、読み解こう! という知的遊戯です。不思議なことにAさんの「答え」とBさんの「答え」が同じようなイメージで繋がったりするようなこともあります。それぞれが話終えたら、またいろんなテーマ、問いを立てて、直観読みブックマーカーをして遊んでみましょう!